

りとをくも申てけるかなげにえしもさはあらざらんついたちなどを申べかりけると下には
おもへどさばれさまでなくといひぞめてん事はとてかたうあらがひつ二十日のほどに雨な
どふれどきゆべくもなしたけぞすこしをとりにてゆくまら山の観音これきやさせ給ふなと
いのるも物ぐるをしさてその山つくりたる日式部のぞうたか御使にてまいりたればま
とねさし出し物などいふにけふの雪山つくらせ給はぬ所なんなき御前のつばにもつくらせ
給へり春宮弘徽殿にもつくらせ給へり京極殿にもつくらせ給へりなどいへば

こゝにのみめづらしとみる雪の山とこゝにふりにけるかなどかたはらなる人してい
はずればたび／＼かたぶきて返しはえつかふまつりけがさじあざれたりみすのまへにて人
にをかたり侍らんとてたちいき歌はいみじくこのむときしにあやし御前にきこしめして
いみじくよくとぞおもひつらんとぞのたまはするつごもりがたにすこしちいさくなるやう
なれどなほいとたかくてあるにひるつかた縁に人々出るなどまたるにひたちの介出きたり
略○中にくみわらひて人のめも見れねば雪の山にのぼりかづらひありきていぬるのちに
右近の内侍にかくなんといびやりたればなとか人そへてこゝには給はせざりしかれがはし
たなくて雪の山までかゝりつたひけんこそいとかなしけれとあるを又わらぶゆきやまはつ
れなくてとしもかへりぬついたちの日又雪おほくふりたるをうれしくもふりつみたるかな
とおもふにこれはあいなしはじめのをばおきて今のをばかきすてよと仰せらるる○中雪の山
はまことにこしのにやあらんと見えてきえげもなしくろくなりて見るかひもなきさまぞま

たるかちぬるこゝちしていかで十五日まちつけさせんとねんすれど七日をだにえすぐさじ
と猶いへばいかでこれ見はてんとみな人思ふ程に俄に三日うちへいらせ給ふべしいみじう
口をししく此山のはてを去らずなりなん事とまめやかにおもふほどに人もげにゆかしかりつ